



つじどう小だより

2025年12月3日
藤沢市立辻堂小学校
校長 納富 崇典

非常食の備えについて ～7.30の経験から～

夏休みの7月30日、遠地地震の津波警報で140人が本校に避難しました。この日、私と教頭は出張で市内にいたので、急いで学校へ戻ったのですが、学校に着くと、職員が手分けして3階の教室を順次、避難場所として提供していました。教室のテレビをつけて、みんなで警報解除を待ちました。児童クラブ(学童)の子ども達が約80人いて、保護者への「引き渡し」が午後から始まりました。夕方にはほぼ数人となり、警報が18時30分に解除され、学童の子も地域の方も各家庭へ戻ったのですが初めて体験に、課題が見えた1日となりました。「もし、夏休みじゃなかったら、地域の人の避難場所はどこにすべきか」、「東海道線と小田急線が同時に止まったら、引き渡しができないこともあるのではないか」、「警報が解除されなかったら、何を食べればいいのか」等々。学校では年間を通して避難訓練はしていますが、学校に留まることがあることや児童に加えて地域の方々も大勢やってくることを、現実的にイメージしたのは、この日が初めてです。

また、夏休み後半には、秋田への帰省の途中で、震災の遺構となっている仙台市立荒浜小学校を見学しました。津波で学校の2階部分まで浸水しており、当時の被害のままの教室を見て衝撃を受けました。対応にあたった荒浜小学校の教職員が当時を振り返る映像があったのですが、町全体が津波で流されていく様子を屋上から子ども達と眺め、「命を守ることが一番大切なんだ」と話したこと。また、子ども達をどのようにヘリコプターで移送するか判断にせまられたという話を聞いて、涙がとまりませんでした。地域の方は学校に泊まり、子どもたちは自衛隊の基地に移送されたということでしたが、学校が命を守る場であることを再認識し、避難の判断や責任の重さを実感し、日頃の備えと教育の重要性を深く考える契機となりました。

夏の遠地地震を経験した後、調査を行った結果、本校の課題が3つ明確になりました。①児童一人一人の非常食を備えていない。②簡易トイレを備えていない。③ペットの避難の仕方と場所について飼い主も教職員も心得ていない。①の非常食については、市内の中学校は備えているのですが小学校で備えている学校は7校程度でした。しかし本校の南は浸水区域でもあり、すぐに家に戻れないことも考えられるため、備えが必要と考えます。各校が受益者負担で揃えている現状もありますので、本校も購入を進めたいと思います。詳細は別の文書でお知らせしますが、現在1100円～2000円程度で長期保存可能なものを検討中です。②と③については市の部局に問い合わせ整備を進める方向です。③については、「避難所運営マニュアル(ペット対策編)」等に目を通していただくと助かります。

来年度、スタートに向けて、非常食を備えることをご理解、ご協力お願いします。PTAにもご意見いただき検討を進めて参ります。

スクールガード・リーダーからのメッセージ

11月26日(火)の「朝のつどい」にスクールガード・リーダーの上田 祐基さんに来校していただき、安全の話しをしていただきました。元警察官で、現在は児童の登下校の安全状況を確認してくださっています。本校に関わって6年目となります。上田さんからは、学校の帰りに気がゆるんでしまい、歩き方が悪くなり交通事故が起こりやすいことや、自転車の乗り方について注意喚起していただきました。いつも笑顔で見守ってくださっており、大変頼もしい存在です。学校も何かあった時には情報を共有してパトロールをお願いしています。



裏面あり

学校徴収金システム(スクペイサービス)の導入について

これまで本校では、教材費や学級費等について、現金で徴収してまいりました。しかし紛失等の事故を防ぐため、また学校・家庭双方の負担軽減のため、現在、藤沢市立学校全体で学校徴収金の口座引き落とし制度の導入を進めています。本校でも来年度から学校集金に特化した「スクペイサービス」の導入を進める予定です。

ウェブアプリに普段利用している銀行口座を登録していただくことで、口座引き落としによる即時決済が行えます(コンビニ決済も可能)。保護者の皆様には年間数百円のシステム利用料がかかりますが、紛失等の事故防止及び集金業務にかかる負担軽減のため何卒ご理解ご協力よろしくお願い申し上げます。